

# 令和4年度「リアルタイム地震被害推定情報」 実証実験参加企業募集について（ご案内）

国立研究開発法人 防災科学技術研究所で研究・開発した「リアルタイム地震被害推定情報（RT情報）」の社会実装を目指して実証実験を行います。（昨年度は、国内の大手民間企業14分野・39機関にご参加頂きました。）

令和4年度も実証実験を継続し、情報の有用性を検証する為、**無料にて提供**致します。この機会に多くの企業にご参加頂き、新しい防災情報をお試し下さい!!

## リアルタイム地震被害推定情報（RT情報）とは

特徴	1	防災科研が独自に開発した地震被害に関する推定情報		
	2	地震被害に関する4つの推定情報を発信	情報1	推定震度情報（最大速度、最大加速度、速度、SI値等）
			情報2	建物被害推定情報（全壊棟数・半壊棟数等）
			情報3	人的被害情報（死者数、重傷者数）
情報4			曝露人口（エリア別、震度別）	
3	地震発生後、15分程度で取得可能			
対象エリア	日本全国	観測記録を基に250mメッシュ毎に提供		
情報取得方法（選択）	1	Pull方式	専用サイトにアクセスして取得 ※参加時にアクセス用固定IPアドレスが必須	CSVファイル、netCDFファイル等で提供 全国市町村別に取得可能 簡易表示も可能
	2	Push方式	スマートフォンを含むご指定のメールアドレスに送信	配信したURLで画像でも確認 参加時に拠点の情報（拠点名・住所）およびID/PWを登録
実験期間	令和4年4月～令和5年3月22日			
参加費用	無料	Pull方式では、参加企業様で固定IPアドレスの準備をお願いします。		
利用目的	地震発生時の被害状況早期把握・初動対応・BCP策定・訓練等での活用			
RT情報・実証実験の概要	<a href="#">地震被害推定情報</a> <a href="#">実証実験</a> <a href="#">検索</a> 			又は 

### 情報提供機関

生きる、を支える科学技術



防災科研

国立研究開発法人  
防災科学技術研究所

### 実証実験 事務局



特定非営利活動法人

リアルタイム地震・防災情報利用協議会

【お問合せ先】

メール：reic\_jimukyoku@reic.or.jp

電話：03-5829-6368

# 「リアルタイム地震被害推定情報」の利活用

地震発生

被害状況把握

初動対応

防災力向上

- RT情報は、地震発生後15分程度で作成
- 作成した情報をPull方式又はPush方式で配信
- RT情報によりご登録地点の被害推定状況を把握
- 対策本部立上げ、緊急支援の優先順位を決定
- 復旧・復興支援要員・物資等を早期派遣
- 企業資産の経済的損失の軽減
- BCP策定/見直し、防災訓練・教育

## レジリエンス（回復力）強化！

### 活用事例

#### 医療

拠点病院



医師・看護師の参集・派遣・緊急初動対応

#### 鉄道

沿線駅施設



沿線被害の早期確認  
緊急保線職員参集

#### 電力・ガス・水道

プラント施設



施設の復旧対応  
職員の緊急招集

#### 情報通信

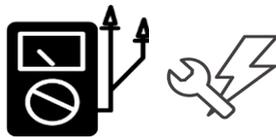
基地局、架線



基地局の復旧対応  
保守員の緊急参集・派遣・初動対応

#### 専門・技術サービス

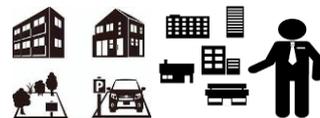
調査業務



設備の復旧対応  
技術者の緊急参集・派遣・初動対応

#### 不動産

ビル、集合住宅、戸建



建物被害の早期収集・復旧対応  
作業員の緊急参集・派遣・初動対応

#### 製造業

工場施設・サプライヤー



自動車工場

半導体工場



緊急支援対応  
建物被害・従業員の安否確認

#### 金融・保険

企業資産・人的資産



速やかな被害算定  
迅速な保険金支払

#### サービス業

物流施設・販売店



物流施設の被害状況把握と支援  
ルートの確保